

しずおか 県民児協だより

31

第31号
平成28年2月1日発行

[題字：静岡県民生委員児童委員協議会顧問 天野隆玄 書]

編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 ㊟054-254-5224 ㊟054-251-7508

全国民生委員児童委員大会（富山大会）に参加して

静岡県民生委員児童委員協議会 副会長 萩原 浩



主催者挨拶 塩崎 恭久厚生労働大臣

平成27年10月15・16日富山市総合体育館に於いて、全国から3,400余名が参加した第84回全国民生委員児童委員大会が開催されました。富山県での全国大会開催は、昭和29年以来61年ぶりの事でした。

得能金市富山県民児協会長の開会宣言にはじまり、塩崎厚生労働大臣・各界諸氏の挨拶のあと、特別講演では、富山県出身の熊谷組相談役 大田弘氏により、黒部ダム建設に携わった多くの人びと・リーダーたちの苦労話が紹介されました。その後大会宣言が採択され、2日目は高岡市での会場を含めた10の分科会会場に於いて、現代社会を取り巻く生活環境の変化に伴う種々の問題・課題、特に生活困窮者自立支援・貧困の連鎖・乳幼児を含むこ

どもの虐待・いじめ・障がい者や高齢者の住みやすい環境づくり等について熱心な発表やシンポジウムが行われ、私たち民生委員児童委員にはとても貴重な内容となりました。

また、これは単に私たち民生委員だけの問題でなく、社会全体で取り組み、考えていくべき課題だろうと思います。

大正6年の済世顧問制度の発足から多くの先人たちの努力により受け継がれた民生委員制度は、平成29年には制度創設100周年を迎えます。世界に誇れる民生委員制度のな一層の充実と内容に磨きをかけ、次の時代や世代に引き継いでいく使命と責任が、私たちにあるのではないのでしょうか。そのためには、この長い歴史の中のいろいろな現実を直視し、その歴史を振り返り、協働による活動と、地域や地域の人達に寄りそった活動が求められるものと感じました。誰もが等しく幸せになれるように。



参加者のみなさん

平成27年度（第84回）全国民生委員児童委員大会報告

期日 平成27年10月15日（木）～16日（金）

会場 富山市総合体育館

次のとおり「大会宣言」が採択されましたので、御報告いたします。

大 会 宣 言

急速な高齢化の進展、世帯構造の変化、人間関係が希薄化するなか、地域においてはさまざまな課題を抱え、支援を必要とする人びとが増加しています。認知症高齢者やその家族への支援、子どもの貧困、高齢者・障がい者・児童への虐待等は社会全体で取り組むべき課題となっています。また、経済的な困窮とともにひきこもりや介護等の複合的な課題を抱え地域で孤立している世帯も増えています。

こうしたさまざまな課題を抱える人びとを支援するため、本年4月から生活困窮者自立支援制度、子ども・子育て支援新制度、改正介護保険制度がスタートしました。また、来年4月からは「共生社会の実現」をめざす障害者差別解消法が施行されます。

住民の最も身近な相談相手である民生委員・児童委員には、日々の活動を通じてこうした福祉サービスへのつなぎ役となるとともに、住民参加による支えあいのまちづくりに取り組んでいくことが期待されています。

2年後に迫った民生委員制度創設100周年を前に、私たち全国23万人の民生委員・児童委員は、こうした国民の期待に応えるべく、一丸となってさらなる取り組みをすすめてまいります。

本日、ここ富山県において第84回全国民生委員児童委員大会を開催するにあたり、私たちは強い決意のもと、次のとおり宣言します。

一、支援を必要とするすべての人びとが孤立することのないよう、日々の見守りや相談活動に取り組み、早期に必要な支援につなぎます

一、住民の多様な生活課題に対応するため、地域の幅広い関係者との連携に加え、住民参加による支えあいのまちづくりをすすめます

一、子どもを虐待やいじめ、犯罪被害から守るとともに、貧困の連鎖を断ち、子どもの夢と希望を実現できる社会づくりに向けて、地域ぐるみの支援に取り組みます

一、東日本大震災をはじめとする被災地の人びとや、そこで活動する民生委員・児童委員への支援とともに、災害に備えた地域での取り組みをすすめます

一、基本的人権についての理解を深めるとともに、個人情報の取り扱いなどに常に留意し、住民や関係機関・団体との信頼関係に基づく活動をすすめます

一、民生委員・児童委員がその力を発揮できるよう、活動しやすい環境づくりのため、市区町村、都道府県・指定都市、全国の各段階における取り組みを一層すすめます

平成27年10月15日

第84回 全国民生委員児童委員大会

平成29年に民生委員制度は創設100周年を迎えます

平成29（2017）年は、民生委員制度の源である「済世顧問制度」の創設から100周年にあたります。

一世紀という節目にあたり、民生委員・児童委員制度のさらなる発展と活動の充実を図るため、静岡県民生委員児童委員協議会、静岡市民生委員児童委員協議会並びに浜松市民生委員児童委員協議会は協力して記念事業に取り組みます。

1 民生委員制度創設100周年記念事業企画推進委員会の設置

【委員名簿（順不同、敬称略）】（注）☆…委員長、★副委員長

所属民児協名	所属役職名	氏 名	備 考
静岡県	副 会 長	★松 下 悦 郎	磐田市選出
静岡県	常 任 理 事	杉 本 正	牧之原市選出
静岡県	理 事	望 月 衛	富士市選出
静岡県	理 事	井 川 あい子	湖西市選出
静岡市	常 任 理 事	岩 崎 武 士	葵 区 選 出
静岡市	常 任 理 事	島 村 博 章	駿河区選出
静岡市	常 任 理 事	★梶 谷 浩	清水区選出
浜松市	会 長	☆稲 田 謙 一	東 区 選 出
浜松市	副 会 長	杉 山 晴 康	中 区 選 出
浜松市	副 会 長	武 智 一 信	浜北区選出
浜松市	副 会 長	井 村 元 子	南 区 選 出

2 民生委員制度創設100周年記念大会の開催

趣 旨：静岡県内の民生委員・児童委員の代表者等が一堂に会し、民生委員制度100年の歴史を振り返るとともに、今後、一層の活動の充実、発展に向け、思いを新たにする機会として開催します。

開催日：平成29年11月22日（水）

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ大ホール「海」

内 容：式典、記念講演

3 「あゆみ」（100年通史）の発行

この100年間の民生委員制度やその活動経過、それを取り巻く社会や福祉制度の動向等を「通史」として編纂、発行します。

皆さまの御協力をお願い申し上げます。

民生委員制度創設100周年のシンボルマークが決定しました！

民生委員制度創設100周年シンボルマークは、民生委員・児童委員のマークと「100」の文字を組み合わせ、さらに、これまで地域とともに歩んできた実績を背景に、これからもずっと地域の方々と共に歩み続けるという民生委員・児童委員の想いが込められたキャッチコピー「これからも地域とともに」を一体的にデザインしています。



菊川市民児協活動と『特定課題推進委員会』活動について 「広報委員会」・「避難行動要支援者対応委員会」

菊川市民生委員・児童委員協議会

一 菊川市現況

(平成二七年十月現在)

位置…静岡市と浜松市のほぼ中間
人口…四七、八〇三人(外国人二、四六九)
世帯…一六、六五五世帯(外国人九九三)
高齢化率…二四・九%

二 民児協組織

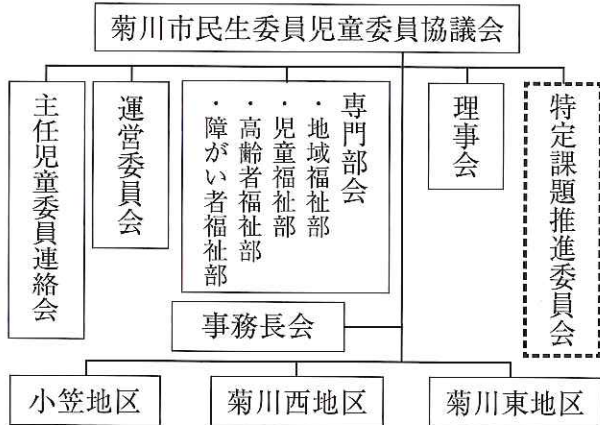
民児委員七七八

(男性五十一名 女性二六名)

主任児童委員六名(女性六名)

委員任期…二期以上の委員二〇%

組織図(左図)



三 平成二七年度活動計画

- ①ひとり暮らし高齢者世帯等を中心とした安全訪問活動の実施。
- ②避難行動要支援者、支援への取り組み。
- ③児童の置かれた状況把握に努め、地域見守り活動を充実。
- ④民児委員の人格と識見の向上。
- ⑤民児委員の活動が容易にでき、充実した活動への取り組み。

四 活動状況

- (一)総会(五月)
 - (二)市長懇談会(六月)(下記写真)
 - (三)法定地区民児協定例会(毎月)
- ・事例等を聴講し、自己・相互啓発に役立てている。
- ・識見向上のため、新たに制改定された法律、行政の長期計画等の報告と説明を受け、民児委員の役割を確認する機会としている。

今年度の主な報告

- ①生活困窮者自立支援法(三月)
- ②介護保険三か年計画(八月)
- ③子ども子育て支援計画(十月)

市長懇談会



主任児童委員報告
「こんなにあるよ 素敵な子育て支援」



委員体験事例報告
「高齢者世帯見守り事例」

(四)事務長会(毎月)

市民児協会長と法定地区民児協副会長、行政・社協関係者で実施。

①定例会における行政・社協からの報告事項確認と精査。

六 地域ボランティア活動

- (一)福祉施設夏祭りと施設内草刈等への参加と支援。
- (二)災害ボランティア支援本部」立上げ訓練に、県外ボランティア役として参加し、災害復旧の支援について学ぶ。



五 市民児協の視察研修・講習

- (一)盲導犬育成「富士ハート」視察
 - (二)障がい者差別解消法講習
- 平成二八年四月、施行される法律の主旨「障がいとは」、「合理的配慮」等、静岡自立センター大川先生の講義をいただき理解できた。

- ②法定毎の課題を市民児協対応方法について検討。
- ③民児協活動に必要な規約・規定・要領書の新規作成と改定。
- ④民児委員としての行動規範作成。
- ⑤委員所有「規約ファイル」改善。委員役割等の確認利用しやすさと新委員への引継ぎのための準備。

七 特定課題推進委員会

市民児協として重要な課題を年度毎に決め、法定地区から選任された委員で会を構成し、検討するように組織化している。

平成二十七年は「広報委員会」と「避難行動要支援者対応委員会」の二委員会を実施。

(一) 広報委員会

民児委員が活動しやすい環境づくりと、委員のなりて不足解消には、地域住民や関係機関・団体が民児委員に対する理解を得ていただくことが必要です。

その機会として地域毎の個別活動等を通してと、市民児協広報誌「お元気ですか」の発行配布などがあります。

以下広報委員会発足について

- ① 年一回発行約二十万円、その予算措置が精一杯、廉価印刷なども検討しましたが不可。
- ② 委員活動ピー・アールには年複数回の発行と、地域に親しみが持て、読んでいただける広報誌を目標に検討しました。
- ③ 委員からは、自分たちで構成から印刷までを手作りしてはとの発案がありました。

- ④ 委員構成十名
- ⑤ 平成二十七年発行四回・一回費用約三万円

・一回三時間・三〜四名(印刷他)

⑥ 誌面構成
表面は市民児協版と裏面は法定地区版で構成し、地域の方に、身近に読んでいただく誌面としました。

⑦ 今後の進め方

広報委員会を市民児協の組織と位置付けし、継続発行していく。(平成二十八年二月より)



表：市民児協版



裏：法定地区版

(二) 避難行動要支援者対応委員会

毎年民児委員活動強化週間を皮切りに世帯調査訪問要領に準じたようなポイントで調査。

・災害時避難支援と避難生活は？
・定期安否訪問の必要はないか？
この調査はより安心につながる活動と考えております。次の事が委員から問題提起された。

① 災害時の要援護者への対応方法はどの様に行動・活動して良いか、具体的にしたい。

② 要支援者調査の方法と判断には委員間のバラツキがあり、地域の実態把握が十分でない。

そこで民児協の特定課題として取り上げることとした。

(1) 委員構成九名(法定地区より三名選任)

(2) 進め方(平成二十六年)

① 勉強も含めた検討会(月一回開催)を以下の資料等を参考として進めた。

・「災害時要援護者支援に関する指針」(全国民児連発行)
・市防災計画・ハザードマップ等。

・先進的な市内自主防活動状況の把握。

② 行政・社協への説明と支援を依頼した。

③ 自主防災会との連携検討。

(3) 民児委員への中間報告(以下報告概要)

① 災害発生時の「活動の基本」
・委員も被災者となること踏まえ、無理のない行動とする。また、同僚委員にも無理を求めない。

防災とは

『自分の大切な人を守る』
そのためには『自分は死んではいけない』自分が生き続けるための活動。

② 民児協の組織運営のため

・委員の安否状況確認と支援・協力体制を検討していく。

③ 平時(以下自主防災との連携事項)

・地域毎の被害想定と避難支援方法。

・避難生活での配慮事項と方法を学ぶため、避難所運営のため HUG 講習会開催(避難所運営ゲーム)。

④ 発災時(余震時も含む)
・安否、避難・被災状態確認と対応。

・地域毎の特徴ある災害を想定し、自主防と連携して避難方法検討。

⑤ 避難生活時
・不自由はないか、また支援物資は在宅避難者も適正に配布されているか。

・委員による相談窓口の開設。

⑥ 今後の進め方

・対応毎の要領書作成と委員への説明。

・行政・社協・自主防災会との連携。



HUG講習会

ひろば

最近思っていること

伊豆市
民生委員児童委員協議会

長濱 薫

土肥地区は伊豆半島の中ほど、山と海に囲まれた平地の少ない所です。温泉と駿河湾越しの富士山の景観の良い所です。人口約4千人、半農半漁と観光産業が町を支えております。

古くは金の採掘と、天然の温泉が珍重され、老舗の旅館も盛況で、多くの観光客で賑わっていました。金鉱の閉山、バブルの崩壊以降、観光客も激変し公共施設・地元の商店も持続できない寂しい状態です。

それに伴い、過疎化、高齢化、少子化の進行は容赦なく進んでおります。

また、東海地震の恐怖を3・11で確認しました。最悪3千人の被災と言われています。このような人知の及ばないことを言っても仕方ありません。そんな中、少しでも多くの人々に安心を感じてもらえるよう20名の委員で広報・見守り活動をしています。経済的問題が主因と思われる片親世帯の増加、生活困窮者、高齢者の介護問題、地震後5分で来ると言われている津波からの避難、等等列挙にいとまがありません。今、杜協の指導のもと、サロン活動を実施しています。地域の力が衰弱している今、老若男女を問わず多くの人が集える場所になればと思っています。時は確実に流れています。必ず来る近未来をどうすべきか？皆で考えていければと思っています。一度だけ与えられたこの時を、大切に後悔の無いよう皆で生きられるような地域にしたいと思います。

連帯感を強める研修旅行

沼津市
民生委員児童委員協議会

石川 容右

沼津市には20地区から民生・児童委員が360人。私たちは地区内の住民支援や相談が主な活動であるが、毎年8月に行う全体研修で多くの仲間と交流を深めている。

昨年は福島県いわき市へ1泊2日の研修を実施した。震災の現状を視察すること、そして私たちにできる復興支援を目的に260人の参加者であった。マスコミで報道されている状況は知ってはいたが、現地で見るとの大切さを実感した。住宅の建設が進んでいる所もあるが、依然として津波で荒涼たる大地が広がっている海岸を見た。母畑温泉に泊り宿代、昼食、見学、みやげ代を含めると500万円近くを現地で消費した。

今年は神奈川県相模原市にある「相模福祉村」へ。春の選抜高校野球では、ここにある学校が優勝。また「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会の事務局は相模原市にある。参加者250人は6グループに分かれて福祉関連の施設を見学した。広々とした環境の中にある福祉村は、特養から障害者支援施設、作業所を備え、地域や自治会にも開放している。施設には学生数の減少から使われなくなった短期大学の校舎を再利用したり、最近までは結婚式場だった建物を活用している等、福祉に対する熱い思いがどの施設からも伝わってきた。

沼津市民児協の一泊研修は、先輩たちの尽力で40年以上前から続いている。私は人生の後半、60・70歳代になって知り合った民生・児童委員の仲間に深い絆と連帯感を持っている。

不審者

焼津市
民生委員児童委員協議会

溝口 壽雄

十月末の土曜日の昼前、自宅から焼津図書館へ自転車で行きました。住宅地の細い道をゆっくり走っていると、パトカーが追い越し目の前で停車、自転車を停めてボンヤリしていると、二人の警官が車から降りて、声をかけて来ました。職業は、どこへ行くの、と矢継ぎ早の質問にモゴモゴ答えていると、片方の警官が私の自転車を調べてパトカーの無線で話をしている。あつ俺不審者なんだ。職質を受けているんだ。家からの道すじ、小さな公園や介護施設の裏をキョロキョロ見ながら移動している小汚い老人、怪しい人が徘徊老人と見られても仕方ないか。

無線で、自転車の防犯登録と提示した免許証の住所・氏名が合致したので、解放されました。自転車盗と思われるので、解放された後の参考に、何が不審か聞いてみると、流石に姿かたちについては黙っていました。が、自転車が高中生が乗る銀色の27インチ車だったからそうです。

前任の委員さんから訪問活動はキチンとした服装で、と言われた意味が身しました。外出は身ぎれいに、キビキビと、これからは心がけます。自転車の防犯登録を忘れずに。

ひろば

委員活動を振り返って

牧之原市
民生委員児童委員協議会

大石 武久

私が民生委員・児童委員を引き受けたのは、六十四才の時でした。町内会の役員を退き、ある日町内会から民生委員・児童委員をやってくれないかとの依頼があり、地域のために少しでも役に立てばと思い引き受けました。

前任者からの引継ぎの中に福祉票の綴りがあります。その中には、高齢者一人暮らし世帯、障がい者、生活困窮者、母子、父子世帯など個人の生活に深く係わっている様々な世帯があることが分かりました。民生委員・児童委員活動にあたり、個人情報取り扱いには十分注意して地域の見守り、訪問活動、住民の相談相手となって、住民との情報交換を欠かさないよう努め、問題のある世帯には、解決に向けて民生委員、行政、社協のご協力をいただきながら私なりに何とか続けることができました。

今では、委員同士（OBも含めて）のグループ、わくわくクラブがあります。日頃の息抜きとしてグラウンドゴルフなどを楽しんでいます。こうして、多くの皆さんと知り合えることができ、自分の人生に大きなプラスになっていきます。残り少なくなった任期もあと一年となり、引き続き地域のために頑張りたいと思います。

これからの高齢者見守り

袋井市
民生委員児童委員協議会

大場 照男

近年、日本は世界でも例を見ない超高齢化社会へ移行しているため、わたくしたちもこの高齢者支援を主とした活動を行っています。

さて、この高齢者の皆さんですが、これからは地域包括ケアの推進により、住み慣れた地域を離れることなく暮らす方の増加が予想されています。これにより今までも増して地域として把握し、支援する体制づくりが求められているように思います。

こうしたなか、袋井市の場合数は数年前から社会福祉協議会が各自治会に見守りネットワーク活動の推進を呼びかけてきました。最近はその自治会で、班長やボランティアスタッフが高齢者宅等の「さりげない見守り活動」を行うようになっていきます。例えば、ポストに新聞や郵便物がたまっているなどの異常を発見した時には、民生委員や地域包括支援センター等と連絡をとり、協働して安否の確認にあたっています。

しかし、実際にはこれだけの見守りでは安心できないため、これからは袋井市の他の自治体でも、新聞・郵便・宅配便・牛乳の配達や金融機関等の外廻りの皆さんも地域の守り手になって、高齢者宅等の訪問で異常を発見した時は、速やかに民生委員や行政機関等へ通報してもらえような仕組みになっていくことを心から願っています。

給食サービス

森町
民生委員児童委員協議会

山本 玲子

町内の七十二歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、給食サービスを実施しました。

全員（もちろん男性委員も）三角巾とエプロン姿で調理を開始。メニューは、ゆかりご飯・焼き魚・野菜の煮物・青菜のごま和え・卵焼きと、彩もきれいな栄養バランスのとれたお弁当です。任期二年目、回を重ねる毎に手際よく、あつという間に二百八十食のお弁当が完成しました。

さっそく、担当地区の高齢者宅へ、安否確認をしながら配食。「お待たせしました。お元気ですか。」の声かけに「うれしいやあ。ありがとね。」と喜んでくれる姿に、こちらもうれしくなります。豪華なお弁当ではありませんが、委員の真心のこもった手作り弁当はとても好評で「お弁当おいしかったよ。」と声をかけられる事が度々あります。

おたっしや度、男女共に県下一位となり、元気な高齢者の姿が多くみられる我が町ですが、年々、独居高齢者や、高齢者世帯が増えています。高齢化率も30%を越え、民生委員が関わる事も多くなりました。又、高齢者だけでなく、児童・障がい者等、活動は幅広く忙しくなっています。

これからも、できる事を無理せずに、お互いの気持ちをもって、楽しく活動をすすめていこうと思います。

平成27年度叙勲・大会等表彰者の紹介

(敬称略)

●厚生労働大臣表彰

長渡 泰子 (熱海市)

勝亦 良光 (三島市)

因 富子 (三島市)

稲葉 正行 (沼津市)

鈴木 通保 (清水町)

原 とく (清水町)

西原 茂子 (富士市)

横田 一女 (島田市)

高森 孝子 (島田市)

鶴田 久子 (掛川市)

●静岡県知事表彰

勝俣 一代 (沼津市)

●全国社会福祉協議会

会長表彰

民生委員・児童委員功労

小川美佐子 (伊東市)

高橋袈裟昭 (熱海市)

庄司美智子 (沼津市)

小出嘉代子 (富士市)

尾坂 汎恵 (島田市)

小野田浩子 (袋井市)

小松 勇 (湖西市)



●全国民生委員児童委員

連合会会長表彰

優良民生委員児童委員協議会

袋井市第4地区

民生委員児童委員協議会

永年勤続民生委員・児童委員

鈴木 順子 (伊東市)

石井由美子 (熱海市)

松川 昭宏 (三島市)

小川 清子 (沼津市)

小林 明代 (御殿場市)

田中 治代 (富士宮市)

鈴木貴美子 (富士市)

佐野 累子 (富士市)

杉山 富恵 (富士市)

編集後記

今号の「県民児協だより」が民生委員児童委員の皆さんの手元に届く頃は、一斉改選の年になります。

数年前、新聞等で報道された記事に、民生委員児童委員の人材不足は、「要支援、児童、高齢者の研修活動が複雑」で「任期三年」が敬遠の要因、と記載されていました。研修で「習うこと」も大切ですが、ひとつひとつ体験して初めて理解し、経験を重ね「慣れること」が大切だと思います。

私は先輩から、「人格の向上」と「委員らしさ」、挨拶（こんにちわ・失礼します・ありがとう）、徽章を付ける、「○○させていたただく感謝の心」を教わりました。今も昔も同じですが、和の心、笑顔と温もりも大切ですね。

時代の変化とともに、暮らしや社会が変化し、パソコン・スマホ・マインバーの社会では、人と人との繋がりが一層大切になりました。私たち民生委員は、「相手に喜びを与えることで必ずその喜びが返ってくる」つまり「他人のために生きる」とによって自分も幸せになれる」と信じ、思いやりの心を広く持ち活動していきたいですね。

(三宅)